

INAXライブミュージアム企画展 「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」

Japan-made Majolica Tiles—Trail of Inspiration

【会期】2018年11月3日(土・祝)～2019年4月9日(火)

【会場】INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」企画展示室



INAX MUSEUMS

株式会社 LIXIL が運営する、土とやきものの魅力を伝える文化施設「INAX ライブミュージアム」(所在地：愛知県常滑市)では、2018年11月3日から2019年4月9日まで、企画展「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」を開催します。

めまぐるしく変化する現代の生活のなかで、風情ある古い建築に残された少し懐かしく可愛げのある「和製マジョリカタイル」が注目を集めています。

「和製マジョリカタイル」は、大正初めから昭和10年代頃に日本で生産された多彩色レリーフタイルで、近代イギリス製の「ヴィクトリアンタイル」を模倣してつくられたものです。1800年代半ばにイギリスで売り出された、ヴィクトリアンタイルの中でも華やかな発色と艶が美しいタイルは、イタリアなどのマヨルカ焼の流れをくむ多彩色表現という意味で「マジョリカタイル」と名付けられ、日本でもその呼び名で広まりました。

明治期の日本では、洋風建築に使われたヴィクトリアンタイルの意匠の美しさや耐火性・耐水性が注目され、日本での生産が望まれるようになります。国内のタイルメーカーたちは、その声に応えるべく研究を重ね、明治40年頃には乾式プレス成形法による「和製マジョリカタイル」をつくりだしました。安価で高品質なそのタイルは、昭和初期の輸出最盛期には、東南アジア、インド、中南米、オーストラリア、アフリカなどにまで輸出され、最新の研究では輸出先のニーズに合わせたタイルが作られていたことも明らかになっています。また台湾では「和製マジョリカタイル」に歴史的価値を見出し保存する動きも見られます。

本展では、イギリス製のタイルへの憧れから生まれた「和製マジョリカタイル」が、やがて世界のさまざまな地域で建築を彩り、根づく様子をご紹介しますとともに、「和製マジョリカタイル」の復元品による「懐かしくも新しい」タイル空間を会場内で提案します。独特の美しさと軽やかさの中に歴史がこめられた「和製マジョリカタイル」の世界をご覧ください。

注) マヨルカ焼：ルネサンス期にイタリアで発展した錫釉色絵陶器。錫を加えた釉薬で下地を白く化粧した後、色絵を施す。スペインのマヨルカ島を経由して伝わったことから「マヨルカ焼」と呼ばれる。



多色草花文レリーフタイル
不二見焼
撮影：梶原敏英

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 LIXIL (<http://www.lixil.co.jp/>)

本社：東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 36 階

INAX ライブミュージアム：愛知県常滑市奥栄町 1-130

担当：水野、竹内 TEL. 0569 - 36 - 0206

※INAXライブミュージアムは株式会社LIXILが運営する文化施設です。

※このリリースは LIXIL ホームページ (URL: <http://www.lixil.co.jp/>) でも発表しています。

※報道関係者の方々にご取材いただきたく、ご検討をお願いします。ご取材いただける場合は、担当者までご連絡ください。

<参考資料>

開催概要

企画展「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」

Japan-made Majolica Tiles—Trail of Inspiration

- 【会期】2018年11月3日(土・祝)～2019年4月9日(火)
【会場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」
企画展示室
〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130
TEL : 0569 - 34 - 8282 FAX : 0569 - 34 - 8283
【休館日】水曜日(祝日の場合は開館)、
2018年12月26日(水)～2019年1月4日(金)
【観覧料】共通入館料にて観覧可
(一般:600円、高・大学生:400円、
小・中学生:200円)
【主催】INAX ライブミュージアム企画委員会
【協力】株式会社 Danto Tile、台湾花磚博物館、
コンフォルト(建築資料研究社)
【展示デザイン】GENETO



左上: 果物レリーフタイル(桃、ザクロ)、製造会社不詳
左下: 草花文チューブライニングタイル
佐治タイル
右下: 多色チューブライニングタイル(草木と鳥)
不二見焼
撮影: 梶原敏英(3点全て)

■オープニングイベント

台湾花磚博物館(台湾タイル博物館) 館長徐嘉彬氏講演
「台湾のマジョリカタイルの歴史と展望」

- 【開催日時】2018年11月2日(金) 17:00～18:30 (16:30 受付開始)
【会場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」
【聴講料】1000円(招待券付) ※企画展「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」もご観覧頂けます。
【定員】20名(先着順)
【受付】メール送付にて。件名に「11月2日講演会」と記入し、氏名(フルネーム)、当日の連絡先
メール本文にご記載ください。10月12日(金)より受付開始。
申込メールアドレス clayworks_event.ilm@lixil.com

徐嘉彬氏プロフィール

台湾タイル博物館 館長

国立台湾大学 機械工学研究所 卒

財団法人 工業技術研究院(ITRI) 在

1998年より約20年にわたり台湾のマジョリカタイルの収集、保存、再生につとめる。そのほとんどは20世紀初頭を中心に日本で作られた和製マジョリカタイル。2016年にタイルにまつわる知識や教養を広めるため、出身地嘉義に台湾タイル博物館を設立。マジョリカタイルの美しさや価値を現代の生活に取り戻したい、との強い思いで活動を続けている。

■展覧会のみどころ

展覧会場内に「マジョリカタイルの回廊」が出現します。和製マジョリカタイルが製造されていた時代は大正から昭和初期頃までですが、その時代のタイルのデザインをモチーフとして「懐かしくも新しい」タイルの空間を再現いたします。

当時のカタログ等の資料を交えながら、日本のメーカーのマジョリカタイルをめぐる工業史も解説します。中でも「海外へ渡った日本のマジョリカタイル」についての紹介は必見です。

■主な展示品（予定）

- ・「ヴィクトリアンタイル」約 10 点
- ・和製マジョリカタイル 約 80 点
- ・和製マジョリカタイルが使われた国内外の建築事例写真
- ・和製マジョリカタイル復元品による空間デザインの提案

■関連書籍 「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」

2018 年 11 月 30 日発刊予定

天地：257mm×左右 182mm／オールカラー本文 64 ページ程度
無線綴じ

定価：1,500 円（税別） 発行：LIXIL 出版

編集制作：建築資料研究社＋アイシオール



「さらさ西陣」(京都市)
昭和初期に建てられた銭湯をカフェとしてリノベーションした。「和製マジョリカタイル」がふんだんに使われている。
撮影：梶原敏英

■INAXライブミュージアム概要

『INAX ライブミュージアム』

所在地：愛知県常滑市奥栄町 1-130

TEL：0569-34-8282

休館日：水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

共通入館料：一般 600 円、高・学生 400 円、小中学生 200 円

ホームページ：<http://www.livingculture.lixil/ilm/>

LIXIL 文化活動 Facebook：<https://www.facebook.com/LIXIL.culture>

やきもの製品のテクノロジー拠点、愛知県常滑市に LIXIL が開設する文化施設。

「世界のタイル博物館」「窯のある広場・資料館」「建築陶器のはじまり館」

「土・どろんこ館」「陶楽工房」「ものづくり工房」の 6 館から成る

“体験・体感型ミュージアム”。土からやきものまで、その歴史や文化、美しさや楽しさを伝えています。土と陶の魅力に触れる体験教室や企画展、ワークショップも開催。

※「窯のある広場・資料館」は保全工事のため一時閉館中



INAX ライブミュージアム
「窯のある広場・資料館」(左)と
「世界のタイル博物館」(右)



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

■LIXILについて

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在 70,000 人超の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ（証券コード: 5938）は、2018 年 3 月期に 1 兆 6,648 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>